

## Sublime text 3 導入手順書

「Sublime text」のダウンロードサイトにアクセス

①「Sublime text」のダウンロードサイトをブラウザで検索

> sublime text 3[検索]

②検索結果リストの上位にある、[Download - Sublime Text](#) のリンクをクリック

↓

「Sublime text」ダウンロードサイト

<http://www.sublimetext.com/>

## ダウンロード

公式 HP 内の「DOWNLOAD FOR WINDOWS」からインストーラをダウンロード

※PC が 64bit 版の場合は下記リンクをクリック

↓

[Windows 64 bit](#) - also available as a portable version

↓

ダウンロードフォルダ内の下記ファイル「Sublime Text Build 3211 x64 Setup.exe」をダブルクリック

C:\Users\ユーザー名\Downloads\Sublime Text Build 3211 x64 Setup.exe

↓

インストーラーが起動する。

## インストール

※ウィザード画面中

☒Add to explorer context menu

(右クリックメニュー「open with sublime text」が追加されるようにチェックを ON にする)

※Windows 64 bit 版の既定のインストール先は「C:\Program Files\Sublime Text 3」

そのまま [next] を選択し、[finish] クリックでインストール完了。

※インストール後、デスクトップ上にショートカットが無い場合、

①下記のデータを選択>コピー

C:\Program Files\Sublime Text 3\sublime\_text.exe

上記フォルダ中の sublimetext.exe をコピー > (デスクトップに)「ショートカットの貼り付け」を実行

②①で作成したショートカットをダブルクリックして「sublime text 3」を起動しておく

---

## PackageControl のインストール

---

(インストール直後は Preferences メニューに Package Control が無い)

①「Installation - Package Control」のダウンロードサイトをブラウザで検索

> package control [検索]

②検索結果リストの上位にある、[Installation - Package Control](https://packagecontrol.io/installation) のリンクをクリック

↓

「Installation - Package Control」

<https://packagecontrol.io/installation>

①上記ページ中「SUBLINE TEXT 3」のペインからコードをコピー

コード上をドラッグ>右クリック>コピー

②コンソールを開く ... {Ctrl} + P

※上記ショートカットで出ない場合は、View > Show Console を選択

③ウィンドウの下部入力欄に貼り付けて [ENTER]

⇒ Preferences メニューに Package Control が追加されていればインストール成功です。

---

## 日本語化

※注 「sublime text 3」でプラグインの追加・削除を繰り返している間に、

インストール(install)や削除(remove)が上手くいかなくなった場合は、

～AppData～「Sublime tex3 以下のフォルダ」を削除後、再 install してください。

---

①Package Control 呼び出し ... Ctrl + Shift + p または メニュー : Preferences > Package Control を選択

②「install」と入力し、「Package Control: Install Package」が選択された状態で Enter キーを押す。

③(少し待つと入力欄が開くので)「japanize」を入力

⇒ トップメニューのみ日本語化されている状態(サブメニュー未対応)のため、

下記「日本語化 1～3」の手順に従う。

---

## 編集対象のユーザフォルダ

---

### 汎用

C:\Users\%username%\AppData\Roaming\Sublime Text 3\Packages\Japanize

### LaLa203 教室内 PC の場合

C:\Users\%user%\AppData\Roaming\Sublime Text 3\Packages\Japanize

---

---

## 日本語化 1. ユーザフォルダへのアクセス方法

---

---

### ① ユーザーフォルダ

エクスプローラー起動>コンピューター>C:\>ユーザー>ユーザー名 (user)

### ②AppData 配下

※隠しフォルダになっている場合はエクスプローラーの表示タブからチェックを入れる

---

### [参考]AppData

---

Windows には Application Data フォルダという特殊なフォルダがあり、  
ユーザーごとのアプリケーションの設定データなどを保存するようになっています。

Application Data フォルダは、アプリケーションが取り扱うデータを保存する場所のため、  
隠しフォルダになっていますが、自分自身（ログイン中のアカウント）の Application Data フォルダであれば、  
制限なくアクセスできますので、アプリケーションの設定のバックアップを取ったり、  
他の Windows 機に移行するとき覚えておくと便利です。

---

### [参考]Roaming

---

ユーザアカウントに依存する設定を管理・保存するフォルダ。

例えば一つの PC を家族で共有したときに、ログインユーザごとに別れているべき情報を保存する

《携帯電話やネットワーク接続サービスなどの》 契約区域外からの利用、 ローミング《本来の契約業者のサービスエリア以外の場所で、 提携している地元の業者を通じてサービスを利用すること

---

ちなみに Roaming フォルダが入っている「AppData」フォルダには、他にも「Local」や「LocalLow」といったフォルダがあります。こちらは PC そのものの設定が保存されており、PC が変わるとその PC の設定が適用されることになります。

---

## 日本語化 2

---

### エクスプローラー

- ① ~/Sublime Text 3/Packages の下に Default フォルダ作成
- ② ~/Japanize/\*.jp を Default へコピー
- ③ アドレスバーからパスをコピーしておく

`C:\Users\User\AppData\Roaming\Sublime Text 3\Packages\Default`

④

### コマンドプロンプト

> cd ④のパス

\*.jp

> ren \*sublime-menu.jp \*sublime-menu

→サブメニューが日本語化されている

### ④（トップメニュー）日本化

~¥Japanize¥Main.sublime-menu（.jp が付かない方）を  
~¥Packages¥User へコピー

→一部日本語化されていなかった箇所も日本語化される

よく使うショートカット

<コマンドパレット>

Ctrl + Shift + P

<モード解除>

ESC

<画面分割>

※テンキーは使わない方がベター

(NUM LOCK がオフの場合、ウィンドウ回転など誤動作)

1 画面 Alt + Shift + 1

2 行 Alt + Shift + 2

3 行 Alt + Shift + 3

4 行 Alt + Shift + 3

4 グリッド Alt + Shift + 5

(Alt + Shift + 6, 7 は欠番)

2 列 Alt + Shift + 8

3 列 Alt + Shift + 9

<基本タグ>

拡張子 html でファイル作成

- ・ 基本タグ生成 ... html とタイプし、Ctrl + space
- ・ その他タグ生成 ... TAB キー

タブのインデント幅を 2 に設定したい場合

基本設定 > 基本設定

"tab\_size": 2,

"translate\_tabs\_to\_spaces": true,

tab\_size はインデントの幅設定。

translate\_tabs\_to\_spaces を true にするとインデントがスペースに、false だとタブになります。

---

---

## プラグインのインストール手順

---

---

- ① コマンドパレット起動 (Ctrl+Shift+@)
- ② 「install」と入力 > 「Package Control: Install Package」を矢印キーで選択  
※濃いグレー色になっている個所が対象
- ③ (少し時間が経った後、) 追加したいプラグインの名前を入力する

---

ColorHelper (カラーコードの横に色見本を表示する)

---

[styles.css]

```
P{  
    color: #  
}
```

- ① CSS で上記のように # まで記入すると、カラーピッカーが起動する。
- ② [Picker](#) のリンクをクリック
- ③

---

BracketHighlighter (要素の開始と終了タグをハイライト。対応するカッコを目立たせてくれる)

---

---

TrailingSpaces (全角スペースのハイライト)

---

- ① 「TrailingSpaces」パッケージをインストール
- ② 「Preference -> Settings User」に以下を追記し、Sublime Text を再起動する。

```
{  
    "trailing_spaces_regex": "[ \t]+"  
}
```

---

Emmet (たった数文字でコードを書ける)

---

Emmet の場合、下記ショートコードで

↓

```
#testArea>.testBox>ul>(li.test$$>a[href=#]>img[src=images/sample$$ alt=#])*6|c
```

↓

下記のように展開される

```
<div id="testArea">
  <div class="testBox">
    <ul>
      <li class="test01"><a href="#"></a></li>
      <!-- /.test1 -->
      <li class="test02"><a href="#"></a></li>
      <!-- /.test2 -->
      <li class="test03"><a href="#"></a></li>
      <!-- /.test3 -->
      <li class="test04"><a href="#"></a></li>
      <!-- /.test4 -->
      <li class="test05"><a href="#"></a></li>
      <!-- /.test5 -->
      <li class="test06"><a href="#"></a></li>
      <!-- /.test6 -->
    </ul>
  </div>
  <!-- /.testBox -->
</div>
<!-- /#testArea -->
```

---

#### <参考サイト>

【HTML 編】初心者向け Emmet の使い方

[https://11neko.com/emmet\\_html/](https://11neko.com/emmet_html/)

【CSS 編】初心者向け Emmet の書き方

[https://11neko.com/emmet\\_css/](https://11neko.com/emmet_css/)

【チートシート】

<https://docs.emmet.io/cheat-sheet/>

